

徹底追究の「快眠住宅」、戸建分譲で展開

ポラスグループ 中央住宅マインドスクエア事業部

草加市 第1号抽選で早期契約に 西町の



「快眠住宅」の展開について説明する中央住宅の金児正治マインドスクエア事業部取締役事業部長

ポラスグループの戸建分譲住宅はコンセプトが明確である。設定した分譲価格に合うように開発するのではなく、いずれの戸建分譲住宅もまず各エリアの消費者のニーズを分析した上でコンセプトを策定し、そのコンセプトに沿って分譲地・住

宅を開発している。そのことが同グループの好調な実績に繋がっていると見える。そのポラスグループの中央住宅マインドスクエア事業部が新たなコンセプトによる戸建分譲住宅の販売を始めた。「睡眠ウェルネス」に特化した

住まいで、新たな挑戦である。……「睡眠ウェルネス」に特化した「快眠住宅」で特筆されるのは、住まいについて部分的に「快眠」に特化しているわけではないことである。寝室のIoT照明・ベッド、最新の浴槽・トイレなど最新の設備の搭載はもちろんだが、自然を取り入れた間取りや2×6工

法・樹脂サッシによる高気密・高断熱のほか細部に至るまで、住まいまるごと徹底的に「睡眠ウェルネス」にこだわっていることである。……「快眠住宅」の第1号は草加市西町で分譲している。快眠住宅は他よりも800万円程度高くな

ったが、最も早く抽選で契約に至っている。……「快眠住宅」第1号は前述のように昨年11月に埼玉県草加市西町で分譲している。草加市西町では3棟のうち1棟が「快眠住宅」で、3棟ともに販売済みである。

（以下、金児取締役談）切りに、今年度より本格的に「快眠住宅」の販売を開始している。現在、次の3つの分譲地で展開している。①東京都江戸川区の2棟分譲地②埼玉県戸田市の3棟分譲地③埼玉県草加市の5棟分譲地で、いずれも1棟「快眠住宅」を手掛けている。……中央住宅マインドスクエア事業部の金児正治取締役事業部長は「快眠住宅」の今後の展開について説明をした際に、「草加西町の「快眠住宅」入居者へのアンケート回収結果について、入居者が快眠住宅で暮らすことで「睡眠時間が増え、寝起きがよくなり、寝過ぎし

や二度寝がなくなるなど眠りの質が上がった」という理想の満足度となつていてことを指摘した。……「快眠住宅」については、同事業部の東武沿線の埼玉エリア、城東エリアの錦糸町、城北エリアの成増の3拠点において「快眠住宅」の分譲を展開する。……1つの分譲地で「快眠住宅」が完成した時期に次の分譲地の販売が始まることになる。それにより完成した「快眠住宅」がモデルハウスとなる。……「快眠住宅」は実際に体験して肌で感じるものが最も重要」だからだ。そのため、完成した「快眠住宅」が早期契約に至った場合は、ある期間モデルハウスとして使用させてもらうという。訴求については、「睡眠ウェルネスのWebサ

イトから入ってもらって、どこどこに「快眠住宅」が分譲されているというシリーズとしたい」また、設備・資材メーカーについては「今後も同じ会社と共同で開発を続けていくが、睡眠に関連した新商品が開発されれば導入を検討する。また、現在導入している設備・資材以外にも今後検討する」など、「快眠住宅」のフラッシュアップを図っていく。今後については、マンション、リフォームでの展開も視野に入れているという。



主寝室では、良質な眠りを導入するためにIoT照明を採用。そのほかにもエアウィーヴ、マットレス・枕、ガーゼパジャマ、遮光カーテンなどを取り入れている